



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)

2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」です。生物多様性条約第10回締約国会議（2010.10愛知県名古屋市）で採択された、新たな世界目標「愛知目標」の達成に貢献するため、国内のあらゆるセクターの参画と連携を促し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を推進するため、2011年9月に設立されました。

にじゅうまるプロジェクト



にじゅうまる
プロジェクト
for Life on Earth 2011 - 2020

国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J) では、「愛知目標」の達成に貢献するため、自分達のプロジェクトと20の個別目標との関連を宣言して行動する「にじゅうまるプロジェクト」を進めています。

連携事業の認定の基準

「多様な主体の連携」のポイント

複数の、多方面のセクターの参画、複数自治体に及び広域性など

「取組の重要性」のポイント

効果の具体性、波及性、活動の継続性など

「取組の広報の効果」のポイント

活動の先進性、汎用性、参加/支援の拡大など



生物多様性の主流化、生物多様性の損失の根本原因に対処

- ① 生物多様性の価値と行動の認識
- ② 生物多様性の価値を国・地方の戦略及び計画プロセスに統合
- ③ 有害な補助金の廃止・改革、正の奨励措置の策定・適用
- ④ 持続可能な生産・消費計画の実施

直接的な圧力の減少、持続可能な利用の促進

- ⑤ 生息・生育地の損失速度を半減又はゼロ、生息・生育地の劣化・分断を顕著に減少
- ⑥ 水産資源を持続的に漁獲
- ⑦ 農業・養殖業・林業を持続的に管理
- ⑧ 過剰栄養などによる汚染を有害でない水準へ
- ⑨ 侵略的外来種の制御・根絶
- ⑩ 脆弱な生態系への悪影響の最小化（2015）

生態系、種及び遺伝子の多様性の保全、生物多様性の状況を改善

- ⑪ 陸域の17%、海域の10%を保護地域等へ
- ⑫ 絶滅危惧種の絶滅・減少の防止
- ⑬ 作物・家畜の遺伝子の多様性の維持・損失の最小化

生物多様性及び生態系サービスからの恩恵の強化

- ⑭ 自然の恵みの提供・回復・保全
- ⑮ 劣化した生態系の15%以上の回復を通じ気候変動緩和・適応に貢献
- ⑯ ABS名古屋議定書の施行・運用（2015）

参加型計画立案、知識管理と能力開発を通じて実施を強化

- ⑰ 国家戦略の策定・実施（2015）
- ⑱ 伝統的知識の尊重・主流化
- ⑲ 関連知識・科学的基礎や技術の改善
- ⑳ 資金資源を顕著に増加



タヨちゃん サトくんとなかまたち

生物多様性キャラクター
©環境省

詳しくはUNDB-Jウェブサイトをご覧ください

<http://undb.jp/>



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)

事務局：環境省自然環境局自然環境計画課
生物多様性施策推進室

TEL : 03-3581-3351 (代表)

e-mail : shizen-suishin@env.go.jp

発行 2013.3



生物多様性のためにできること。
みんなで一緒にはじめよう。

国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)

連携事業の認定





UNDB-Jは、COP10で採択された「愛知目標」の達成に向け、多くの方々の参画と連携を促進するため、「にじゅうまるプロジェクト」の登録事業等の中から、UNDB-Jが推奨する連携事業を認定し、積極的な広報を行っています。

1 「にじゅうまるプロジェクト」への登録

みなさんのプロジェクトを「にじゅうまるプロジェクト」に登録しましょう！
詳しくは <http://bd20.jp/> へ

2 連携事業の認定

「にじゅうまるプロジェクト」の登録事業のほか、UNDB-J構成団体や関係省庁の関連する事業の中から認定されます。

認定の基準

「多様な主体の連携」、「取組の重要性」、「取組の広報の効果」などの観点から総合的に判断されます。

3 認定されると・・・

以下のようにロゴマークをご使用いただけます。



この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)」が推奨する事業として認定を受けています。

UNDB-Jのウェブサイトや広報誌「iki・Tomo」、報道発表、生物多様性全国ミーティング、生物多様性地域セミナーなどで紹介されます。



まずは、みなさんのプロジェクトを、「にじゅうまるプロジェクト」に登録しましょう！

<http://bd20.jp/>



田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト

NPO法人
ラムサール・ネットワーク日本



全国

生物多様性の道プロジェクト

公益財団法人日本自然保護協会



全国

Earthwatchにじゅうまるプロジェクト

市民参加型生物多様性調査による環境リテラシーの普及
NPO法人アースウォッチ・ジャパン



全国

Web約款で日本の自然を守る！SAVE JAPANプロジェクト

株式会社損害保険ジャパン



全国

ウミガメ類の生態調査・生息環境保全プロジェクト

NPO法人日本ウミガメ協議会



全国

海と田んぼからのグリーン復興プロジェクト

海と田んぼからのグリーン復興プロジェクト



東北地方

味わって知る私たちの海

伊勢・三河湾流域ネットワーク



中部地方

御所実業高校農業クラブ School Gene Farm Project

奈良県立御所実業高等学校農業クラブ



近畿地方

トンボの里プロジェクト

真庭・トンボの森づくり推進協議会



中国地方

徳島での生物多様性地域戦略の策定に関するプロジェクト

生物多様性とくしま会議



四国地方

ICTと映像教材の活用による子ども向け次世代環境教育の推進

株式会社 TREE



全国

動物園・水族館種保存事業

公益社団法人
日本動物園水族館協会



全国

いのちの博物館 実現プロジェクト

公益社団法人
日本動物園水族館協会



全国

Come Back Goose 一甕れシジュウカラガ！日本の空にー

日本雁を保護する会



東北地方/海外

生命のにぎわい調査団等の普及啓発活動

千葉県生物多様性センター



関東地方

副業型林業による「さんむ木の駅プロジェクト」

NPO法人元気森守隊



関東地方

トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略

佐渡市



北陸地方

伊予農希少植物保全プロジェクト

伊予農業高等学校
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム



四国地方

綾の照葉樹林プロジェクト

てるはの森の会



九州地方

海外希少野生動物保全支援活動

認定NPO法人
トラ・ソウ保護基金



海外